

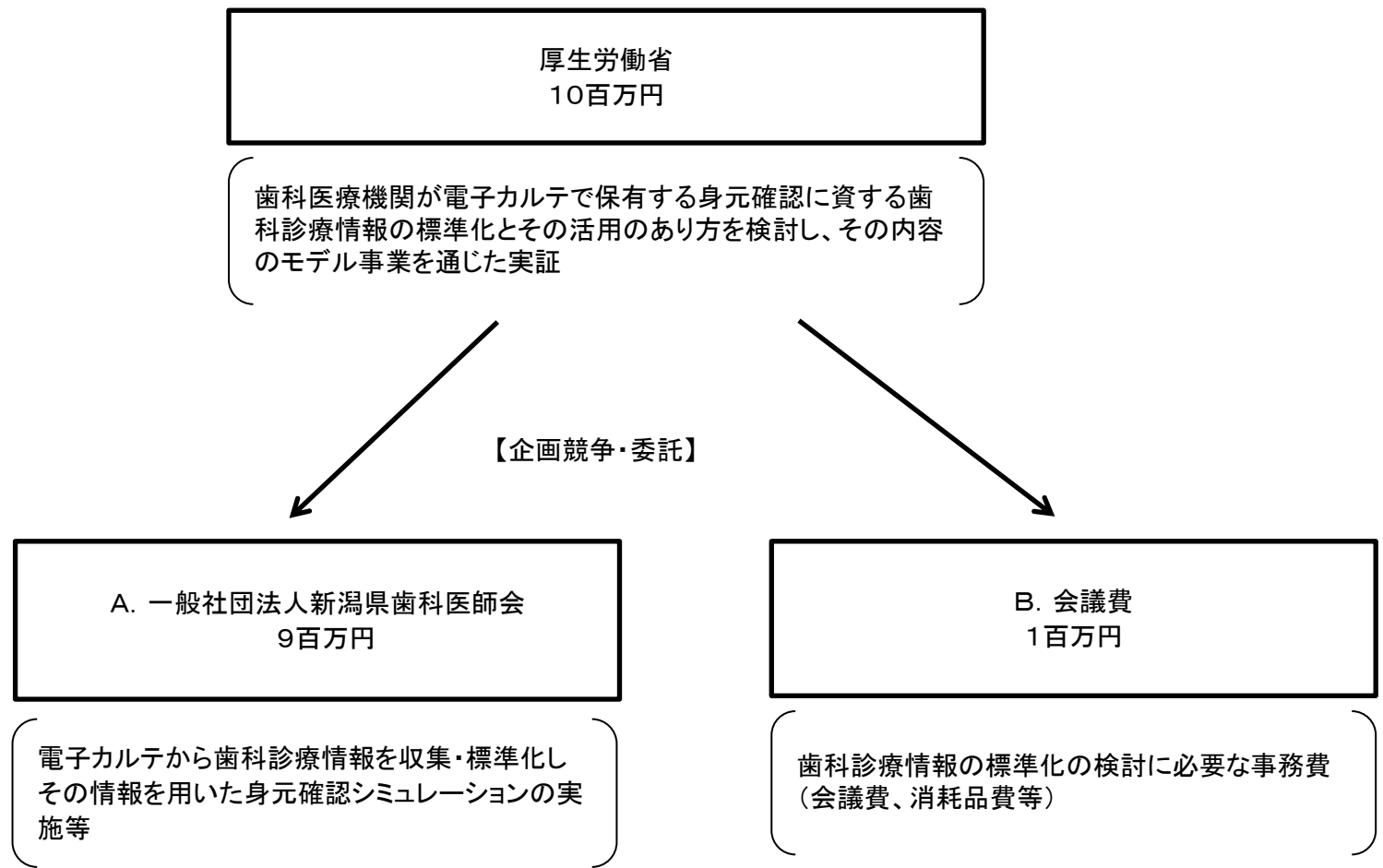
平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	歯科診療情報の標準化に関する実証事業			担当部局	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	歯科保健課		課長：鳥山 佳則		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	「死因究明推進計画」(平成26年6月13日閣議決定)				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大規模災害時等における身元不明遺体の個人識別については、東日本大震災において歯科所見の活用が確認されました。しかしながら、各歯科医療機関が所有する歯科診療情報の内容については、標準化されていないのが現状であり、身元確認に際して、歯科所見が活用できないことが課題でした。このため、大規模災害時の歯科所見を用いた身元確認を効率的に行うことができるよう、歯科医療機関が電子カルテ等において保有する身元確認に資する診療情報の標準化とその活用の在り方に関する検討会を行い、その内容をモデル事業を通じて実証する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	当事業を開始した平成25年度は、モデル事業を通じて歯科医療機関が電子的に保有する歯科診療情報のうち標準化に際し課題となりうる点を抽出し、平成26年度は標準化モデル案を提示できるよう検討を続けているところ。また、平成27年度は、ベンダー間の互換性等を検証し、標準化モデルの評価等を予定している。そして、平成28年度以降、モデル事業の対象地域を拡大し、全国規模での歯科診療情報の標準化を検証する予定である。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位：百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	21	11	12			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	0	21	11	12	0			
	執行額		17	10					
執行率(%)	-	81%	91%						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-		
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と24～26年度の達成状況・実績					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度	
	予算を効率的に執行する	執行率	実績	%	-	81	91		
			目標値	%	-	100	100	100	
			達成度	%	-	81%	91%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	モデル事業数	活動実績	件	-	2	1			
		当初見込み	件	-	2	1	1		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y X:「執行額(27年度は予算額)」 Y:「モデル事業数」			単位当たりコスト	百万円	-	8.5	10	12
				計算式	X/Y	-	17/2	10/1	12/1
平成27・28年度予算内訳(単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	1							
	委員等旅費	1							
	庁費	1							
	衛生関係指導者養成等委託費	9							
	計	12	0						

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	歯科情報の統一した標準様式を検討し、身元不明遺体の照合を効率的・効果的に実施出来るようにするという社会ニーズを反映したものである。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	身元不明遺体の照合を効率的・効果的に実施出来るよう、統一した標準様式を検討するため、国費を投入し実施すべき事業であり、民間等に委ねた場合、実施されないことが懸念される。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	身元確認に資する歯科診療情報の標準化とその活用の在り方に関する検討を行うことは、今後起こりうる大規模災害時の身元不明遺体の身元確認に有効であり、優先度が高い。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	実施にあたり、募集团体をHPにて掲載して広く公募し、評価委員会にて事業者の選定を行っている。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	身元確認に資する歯科診療情報の標準化とその活用の在り方に関する検討を行い、その成果は国民へ提供されるものであり、国費で行うことは妥当である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業者を公募する際に、経費の内訳を提出してもらうこととしており、経費が妥当か確認をしている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-				
事業性の有効	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	概ね当初見込みどおりの活動実績である。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	歯科医療機関が所有する電子カルテ等の情報から抽出される標準化情報の有効性や妥当性を実証するために、平成25年度に新規事業として開始し、歯科医療機関が電子的に保有する歯科診療情報のうち標準化に関する課題等を確認した。					
	改善の方向性	平成27年度以降は事業の内容・規模・予算額等について精査し、適切な執行をして参りたい。					
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-		
平成25年度	新25-005	平成26年度	32				

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位：百万
円)

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.一般社団法人新潟県歯科医師会			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	委員会開催時の謝金、旅費、会議費	4.1			
	賃金	システム構築にかかるSE賃金	4			
	消費税	消費税	0.7			
	計		8.8	計		0
	B.委員(複数)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
諸謝金	検討会出席にかかる諸謝金	0.5				
委員等旅費	検討会出席にかかる旅費	0.3				
計		0.8	計		0	
C.			G.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人新潟県歯科医師会	歯科診療情報を用いた身元確認シミュレーションの実施	8.8	1	100%

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員(複数)	検討会出席	0.8	—	—
2	大和綜合印刷(株)	資料印刷	0.1	随意契約	—
3	(福祉)日本盲人職能開発センター 東京ワークショップ	会議議事録作成	0.1	随意契約	—
4	スワンベーカー 霞ヶ関売店	消耗品販売	0	随意契約	—